

製品名: SULT2A1/ST2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87157**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:34 kDa; Observed MW:34 kDa

抗原情報

遺伝子名	SULT2A1/ST2
別名	HST; ST2; STD; hSTa; DHEAS; ST2A1; ST2A3; DHEA-ST
遺伝子 ID	6822
SwissProt ID	Q06520
免疫原	ヒト SULT2A1/ST2 の合成ペプチド

背景

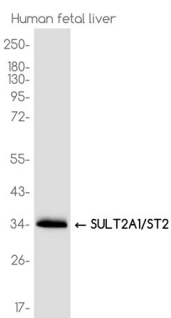
この遺伝子は硫酸基転移酵素ファミリーのメンバーをコードしています。硫酸基転移酵素は、薬物や内因性化合物をより親水性の高

い水溶性硫酸抱合体に変換することで、これらの物質の代謝を助け、容易に排泄されます。このタンパク質は、肝臓と副腎におけるステロイドと胆汁酸の硫酸化を触媒し、多嚢胞性卵巣症候群の女性における遺伝性の副腎アンドロゲン過剰に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2010年3月]

研究分野

-

画像データ



SULT2A1/ST2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児肝臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。